

教育ニュース「協働 共豊」 No.14

今週の児童川柳

「笑顔がね できればいいなあ〜 貯金箱」(5年生)

平成22年10月19日

広島市立吉島小学校

この12日から、後期がスタート。今号から教育ニュースのタイトルをリニューアル、『協働 共豊』(意味:人が集い知恵を出し合うことで、生活は豊かになる)に。

この四文字熟語(造語)誕生のきっかけは、5・6年生の委員会活動にありました。ある給食時間に「新しい遊具の使い方」(体育委員会の児童と担当の先生の共同制作ビデオ)の放映が。

投力や持久力、体の調整力などの体力の低下が課題となっている昨今、この放映は、委員会の児童が全児童の“体力の向上”を願い、先生たちが製作した遊具を正しく、楽しく使う方法を説明するビデオ発信でした。スポーツの秋、多くの児童がこの新しい遊具等の活用で、心と体を元気に、体力の向上を!!!!。

「自分たちから、協働してエコ活動を」と 4年生がエコすごろくなどを地域の環境まつりに

社会科や総合的な学習で環境学習をすすめる4年生は、まとめの学習として、環境新聞や環境川柳とともに、エコすごろくづくりに取り組みました。

環境を守るために必要な活動と環境をこわす活動について児童個々が3つつカードに記し、その後、各グループでカードを内容別に整理し、必要な活動、こわす活動ごとに順位づけをし、その結果をグループ発表しました。

児童が上位にあげた活動には、次のようなものが。

- | |
|-------------------------------|
| ☆環境を守るために必要な活動例☆ |
| 「残した野菜をスープづくりに使おう」 |
| 「コーヒーの使い物を消臭剤に使おう」 |
| 「米のとぎ汁で花の水やりをしよう」 |
| 「チラシをみたら、メモ用紙にしたりゴミ入れをつくり使おう」 |
| 「冷めないうちに家族で続けてお風呂に入ろう」 |
| 「水を使ったら、しっかり水をためよう」など素晴らしい提言が |
| ★環境をこわす活動例★ |
| 「ほしいものをどんどん買う」 |
| 「買い物をしたとき一緒にレジ袋も買う」 |
| 「嫌いなものは、食べずに捨てる」 |
| 「テレビをつけっぱなしにしておく」など |



環境まつりのスタッフの方から、展示されたエコすごろくなどに、「そうだよね」という納得する頷きとともに、いくつかの家族からは、「私たちも今日からエコ活動しようね」など活動意欲を喚起する声があったと聞いています。私たち大人も、子どもたちにまけないようエコ活動に取り組んでいきましょう。

心和む児童詩 と 後期始業式で児童に紹介した言葉

☆心和む児童詩(本校2年生)

「わた毛」
まるでわた毛みたい
ふわふわで 毛ふにしたら
気持ちがいいだろうな
マフラーとかセーターでも
気持ちがいいだろうな
まくらみたいに
ふわふわなすすき。
うさぎの耳みたいだな
ねこの毛と犬の毛みたいだな。

☆紹介した言葉(前旭山動物園長)

～動物たちお客様が幸せになる動物園に～
私たちスタッフがいつも元気でいよう
元気であれば毎日楽しく仕事ができ
動物たちも喜んでくれる
「どうせ無理」と言わず何事にもチャレンジしよう
やってみなきゃ できるかできないか
分かりやしない
嬉しいことがあれば 動物たちに感謝しよう
つまずいたり迷ったりしたら 動物たちに相談しよう
動物たちは私たちの深い愛情をうらぎらない